

第1学年 保健体育科 単元学習指導評価計画

学校名	高槻市立第九中学校	授業者名	加藤 慎司
学 級	1年2組 (36名)	場 所	1年2組 教室
実施月日	平成30年1月19日 (金)	実施時限	5限目 (14:00~14:50)

1 単元名 心身の機能の発達と心の健康 ウ 精神機能の発達と自己形成

2 単元設定の理由

(1)教材観

小学校では、心も体と同様に発達し、心と体は相互に影響し合うことなどを学習している。

本単元では、心は、知的機能、情意機能、社会性等の精神機能の総体としてとらえられ、それらは生活経験や学習などの影響を受けながら、脳の発達とともに発達することを理解できるようにする。

その際、知的機能については認知、記憶、言語、判断など、情意機能については感情や意志などがあり、それらは人や社会との様々なかかわりなどの生活経験や学習などにより発達することを理解できるようにする。また、社会性については、家族関係や友人関係などを取り上げ、それらへの依存の状態は、生活経験や学習などの影響を受けながら変化し、自立しようとする傾向が強くなることを理解できるようにすることをねらいとしている。

(2)生徒観

1年生の前半の授業では「身体機能の発達」・「生殖にかかわる機能の成熟」について学習し、器官が発育し機能が発達する時期や発育・発達の個人差があることなどを学習している。また「生殖機能の成熟」では男女の差についても活発に意見を出し合う姿も見られ、成熟の変化に伴う適切な態度や行動についても学習している。しかし、自分の考えをまとめる場面では学習した知識を活用しながら考えることに課題がみられた。

(3)指導観

「精神機能の発達」の学習については、脳の働きである知的機能、情意機能、社会性等について理解できるように学習を進めたい。また、社会性の発達の学習では、身近にある課題について、学習した知識とともにこれまでの自分自身の経験や仲間の意見等も参考にして自分の考えとしてまとめ、課題解決が図られるようにしていきたい。

3 単元目標

- (1)精神機能の発達と自己形成について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとすることができるようにする。(意欲・関心・態度)
- (2)精神機能の発達と自己形成について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表すことができるようにする。(思考・判断)
- (3)精神機能の発達と自己形成について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解することができるようにする。(知識・理解)

4 単元の評価規準

健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
①心身の機能の発達と心の健康について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取組もうとしている。	①心身の機能の発達と心の健康について、健康に関する資料等で調べたことを基に、課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明している。	①精神機能の発達と自己形成について理解したことを言ったり、書き出したりしている。
②心身の機能の発達と心の健康について、関心をもち、学習活動に意欲的に取組もうとしている。	②心身の機能の発達と心の健康について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見付けたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。	

5 単元の指導と評価の計画（全4時間）

時間	学習内容	健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
1	ウ精神機能の発達と自己形成 (ア) 知的機能、情意機能、社会性の発達 ・心の発達（1） 心と脳の関係と、知的機能・情意機能の発達について理解する			①
2	・心の発達（2） 社会性は生活経験や学習などの影響を受けながら変化し、自立しようとする傾向が強くなることを理解する			①
3 (本時)	・心の発達（2） 身近な生活の中での課題について、仲間の考えを参考にしながらよりよい解決方法を考えることができる。		②	
4	(イ) 自己形成 自己形成について理解し、他人の立場や考え方を理解する学習に意欲的に取り組むことができる。	②		


6 本時の展開

(1) 本時の目標

心の発達について、身近な生活の中で予想される課題に対し、仲間の意見を参考にしながらよりよい解決の方法を考える。

(2) 本時の学習評価(指導と評価の計画で評価規準を用いて学習状況を評価するもの)

精神機能の発達と心の健康について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったり、ワークシートに記述したりして、筋道を立てて説明する。(思考・判断)

	生徒の学習内容・学習活動	教師の支援・手立て、評価及び評価規準
<p>はじめ</p> <p>1 前時の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知的機能・情意機能・社会性について前時までに学習したことを復習する。 ・ ビデオ（自作）を見て、前時の自分の考えを確認する。 	<p>1 前時の復習</p> <p>(1) 「コップの水はどっちが多い？それとも同じ？(ピアジェ)」の図(下図)を使って、知的機能の発達について復習する。</p>  <p>(2) 知的機能・情意機能・社会性について学習したことを確認する。</p> <p>(3) 『こんな時、どうしてる？』のビデオ（自作）を見て、前時での自分の考えを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ビデオ内容 【課題設定】『こんな時、どうしてる？』</p> <p>Bさんは3日後の授業で調べ学習の発表をしなければなりません。そこで、クラブ活動が休みの今日、服部図書館に行って、本で調べようと思っていました。しかし友達が…</p> <p>(友達A) 『今日、遊びに行ってもいい？発表の準備は前日にやれば大丈夫でしょ。』</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(断り方の5つのパターン)</p> <p>A 理由を伝える (なぜ遊べないのか理由を伝える) 例) 「今日しか取組む時間がないから遊べない」</p> <p>B 自分の気持ちを素直に伝える (遊びにいけない自分の気持ちを伝える) 例) 「調べ学習をしっかりと取り組みたいから今日は遊べない」</p> <p>C 代替りの案を提示する (一緒に遊ぶために代替りの案を提示する) 例) 「発表の後に遊ばないか」</p> <p>D くり返し断る 例) 「とにかく今日は無理なんだ」と何回も繰り返す</p> <p>E 何かしらの嘘(うそ)をついて断る 例) 「親に今日は勉強するように言われている」</p> </div>	

1 【課題設定】『こんな時、どうしてる？』で同じ考えを選択したグループに分かれる。

- ・どのグループが、どのパターンを選んでいるのか、挙手をして確認する。

- ・自分が選んだパターンの理由をグループで交流する
- ・グループで会話文を作る

2 グループでの交流内容を発表する。

3 各グループの発表などを参考に自分の考えをまとめ、ワークシートに記入する。

1 前時に自分の考えとして選択した A・B・C・D・E のパターンの中で同じ考えをもつ生徒でグループをつくり、交流する。

《発問》

このグループは、どんな集まりのグループか分かるかな？

返答のパターン

- A：理由を伝える
- B：自分の気持ちを素直に伝える
- C：代わりの案を提示する
- D：くり返し断る
- E：何かしらの嘘について断る

(交流内容)

- ① 自分自身が選択した理由
- ② グループごとにふさわしいと考える返答の会話文を作る

こんな時、どうしてる？

友達 A

『今日、遊びに行ってもいい？

発表の準備は前日にやれば大丈夫でしょ。』

私のグループ

『

』

《発問》

このグループのメンバーは同じパターンの返答を選んでいるけど、交流してみて何か気づいたことはありますか？(選んだ理由も同じかな？)

2 グループごとに選択した理由と作成した会話文を発表する。

- ・選択の理由は、グループの意見をまとめて発表する。
- ・他のグループの考えで、「なるほど！」と思ったことはメモしておく。(状況に合わせて)

《発問》

グループの発表を聞くと、A～Eのどの答えを選んでも、みんな相手のことを考えた発表になっていました。こうやって、相手のことを考えた行動がみんなの社会性の発達につながっているのかもしれないね。

3 各グループの発表やこれまでの学習や経験などをもとに、よりよい解決を目指すために自分の考えをまとめる。

【ワークシート】

☆自分のグループの考えや他のグループの発表を聞いて、またこれまでの学習や経験などをもとに、あなたなら『こんなとき、どうする？』のか、自分自身の心の発達を感じながらもう一度考えてみよう。

	<p>4 2・3人選んで、考えたことを発表する。</p>	<p>《発問》</p> <p>『こんな時、どうしてる?』では、前の授業では小学3年生の時の自分と今の自分の考えを比較しましたね。(様々な学習や経験によって発達していること)今日はさらに仲間の考えも聞くことができました。このようなことを参考にして、自分の考えをまとめられるといいですね。</p> <p>評価規準【思考・判断】 評価方法【ワークシート】</p> <p>A 仲間の意見やこれまでの学習・経験をもとに、自己が選択した理由について具体的に説明することができる B 仲間の意見やこれまでの学習や経験をもとに自己が選択した理由について説明することができる</p> <p>(指導の手立て) 選択した理由が記述できない生徒には、前時で学習したことを振り返ったり、グループの発表を聞いて感じたことを引き出して考えられるようにする。</p>
<p>おわり</p>	<p>1 「心の発達」について学習したことのまとめをする。</p>	<p>1 「心の発達」についての学習を振り返る</p> <p>《発問1》心の働きとはどんなことでしたか?(1時間目の復習) (予想される答え) 知的機能・情意機能・社会性</p> <p>《発問2》それぞれの心の発達につながると考えられることはどんなことがありましたか?(1・2時間目の復習) (予想される答え) 知的機能… 情意機能… } ワークシートから 社会性… }</p> <p>《発問3》3つの心の働きの発達のために共通していることはありませんか? (予想される答え) 様々な学習や経験をすることで発達すること。</p> <p>【まとめ】 みんなの心はまだ発達の途中段階。これからいろんな教科で新たなことを学んだり、行事にクラスの一員として役割を果たしたり、部活動で先輩や同じ学年の仲間との人間関係に悩んだりなど、数えきれないほどの経験をしていくと思います。今日はグループで学習して、他の人の考えを聞いて気づいたこともありましたね。これも心の発達につながる経験となっているのかもしれないね。(教師の体験談も入れる) このような経験をたくさん積んでいくことで、みんなの心はこれからも、もっともっと発達していくはずですよ。</p>